



本日、公益社団法人徳島県宅地建物取引業協会創立50周年、公益社団法人全国宅地建物取引業保証協会徳島本部創立45周年記念式典を挙行いたしましたところ、会員の皆様方には、県下各地より、多数のご出席をいただきまして、厚く御礼申し上げます。

また、本日は、徳島県副知事、海野修司様、県議会議員、樫本孝様、全国宅地建物取引業協会連合会副会長、津村義康様をはじめ、多数の方々には公務ご多忙にもかかわらず、ご臨席を賜り、このように盛大に式典が挙行できますことを衷心より感謝申し上げますとともに、日頃、本会の運営に関しまして、格別のご指導とご高配を賜っておりますことに、高いところからではございますが、本席をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます次第でございます。

さて、ひと口に50年と申しますが、今、その歴史を追懐いたしますとき、歴代役員のお一人お一人の大変なご苦労とご努力、更には、会員各位や各界関係者のご支援、ご協力の結集の軌跡でございまして、その結晶として、ここに創立50周年を迎えるに至ったのであります。

こうした先輩諸兄のご功績なくして本日の50周年を迎えることは到底叶わなかったことは紛れもない事実であります。

本日、その代表としてご臨席を賜っております、元会長の川浦正夫様、出口建夫様、木村正美様、前会長の松本武夫様には、高いところからではございますが、深甚なる敬意と感謝を申し上げ、併せて今後とも大所高所からのご指導を切にお願い申し上げます。

顧みますと、本業界も戦後の荒廃から復興へ、或いは高度経済成長期から昨今の不況期へと幾多の変遷を経て、今、長期化するデフレ経済から脱却することができず、閉塞感が漂う状況下にあります。

本会は、こうした時代の流れとともに、多様化する消費者ニーズに応えながら、いつの時代にあっても、宅地建物取引業の適正な運営を確保するとともに、国民生活の安定向上を目的とした事業活動を展開し、平成25年4月1日からは、徳島県より公益認定を受け、気持ちも新たに公益社団法人としてのスタートを切ったところでございます。

創立以来50年間、会員の教育研修による資質向上に努めるとともに、不動産情報流通の近代化に向けた流通機構の整備拡充、レインズシステムの稼働へと、めまぐるしい成長発展を遂げて参りました。

また、消費者保護の観点から、不動産に関する無料相談所の担う役割が極めて重要であるとの認識に立ち、相談員に対する研修体制の充実に努め、公正かつ安全で迅速な相談業務に最大限の努力を傾注して参りました。

時代の移ろいにかかわらず、常に不動産業は国民生活の根幹をなすべき産業であるとの強い思いのもとに、日々業務に精励し、努力をいたしているところでございまして、その社会的役割と貢献は高く評価されているものと確信いたしております。

一方で、最近の潮流であります国際化、高度情報化等により社会経済は急激に変貌し、消費者

ニーズの多様化、個性化の進む中で、不動産業もこれまでにない転換期に直面いたしております。

設立からこれまで、経験したことのない未曾有の不動産不況下にある今、増加する空き家問題、住宅ストック活用型社会への方向転換、消費者保護を重視した抜本的民法の見直し等、業界を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。

このように直面する喫緊の課題は山積しておりますが、そうした中であって、業界の将来は益々格段に高度化し、都市構造、社会経済事情の変転により、国民生活の変化を招くことが思考され、私どもの業務もそれに伴い複雑多岐になるものと思われまます。

業界は自らの生き残りと将来の発展を期して、一致団結してこれらに対応できる体制を確立することが極めて必要最大事であります。

ただ、社会情勢がどのように変わろうとも、豊かでゆとりある住生活を実現し、魅力と活力ある都市を創造していくための重要な役割を果たす組織として、本会に対し県民から大きな期待が寄せられているとの思いを強くしているところでもございます。

本会の発展は、すなわち徳島県民の住生活環境の向上に直結するものであり、そういった意味に

おきましても、我々業界の社会的責務は益々重くなっているものと思われまます。

温故知新という言葉が示すように、我々はこの50年を節目として、我が徳島宅建の歴史と先人の足跡を再認識すると同時に、これからの業界のあるべき姿に思いを馳せなければなりません。

業界を取り巻く環境は極めて厳しいものがございます。今後はより一層、資質の向上と品位の保持に努め、遵法を旨として公正な取引に徹し、信頼産業としての業の充実発展を図って参る所存でございます。

会員各位には経営基盤の強化と更なる専門知識の習得に努めていただき、地域に密着したリーディング産業としての役割を果たしていただくよう切に望むものであります。

また、ご来賓各位には、今後とも従前にまさる絶大なるご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます次第でございます。

最後になりましたが、ご臨席賜りました有志各位並びに会員の皆様方のご健勝とご繁栄を、併せて、本会の今後益々の発展を祈念申し上げまして式辞といたします。

本日は誠にありがとうございました。

